

■コメント

1. 手足口病

定点当たり2.33人と、前週と比べてやや減少しました。

手足口病は、口の中の粘膜や手足に水疱性の発しんが出るウイルス性の感染症で、乳幼児を中心に流行します。回復後も2～4週間程度は便中にウイルスが排泄されますので、手洗いの励行、排泄物の適切な処理を心がけるなど、感染予防対策を徹底しましょう。

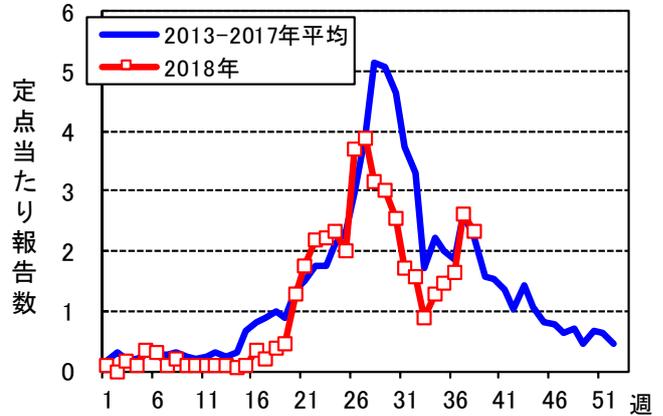
2. レジオネラ症

1件の報告があり、今年の累計は29件となりました。

3. 梅毒

2件の報告があり、今年の累計は82件となりました。(次頁参照)

手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	-	-	0.09		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.55	
小児科	咽頭結膜熱	6	0.25	0.26		小児科	RSウイルス感染症	25	1.04	1.66	◇
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	1.50	1.23	◇		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03
	感染性胃腸炎	87	3.63	3.40	◇	眼科	流行性角結膜炎	10	1.25	1.28	
	水痘	2	0.08	0.64		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	56	2.33	2.21	◇		無菌性髄膜炎	-	-	0.06	
	伝染性紅斑	3	0.13	0.18			マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.20	
	突発性発しん	7	0.29	0.40			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	7	0.29	0.48	▽		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	3	99	男性(20歳代)、男性(30歳代)、女性(80歳代)
4	レジオネラ症	1	29	男性(60歳代)・市外
5	ウイルス性肝炎	1	3	女性(80歳代)
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	7	男性(70歳代)、女性(80歳代)
5	急性脳炎	1	5	男性(10歳未満)
5	梅毒	2	82	女性(20歳代)、男性(70歳代)
5	百日咳	3	42	女性(10歳未満)、男性(60歳代)、男性(80歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

		インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス) 感染性胃腸炎	
報告数	広島市	第34週	1	5	45	90	3	31	2	8	18	1	34	-	13	-	-	1	-	-
	第35週	-	10	46	111	7	35	2	16	16	4	48	1	18	-	-	1	-	1	
	第36週	-	9	54	99	7	39	-	11	20	3	46	-	10	-	-	-	-	1	
	第37週	2	6	48	128	8	63	2	13	17	7	32	-	13	-	-	-	-	-	
第38週	-	6	36	87	2	56	3	7	7	4	25	-	10	-	-	-	2	-	-	
定点当たり	広島市	第34週	0.03	0.21	1.88	3.75	0.13	1.29	0.08	0.33	0.75	0.04	1.42	-	1.63	-	-	0.14	-	-
	第35週	-	0.42	1.92	4.63	0.29	1.46	0.08	0.67	0.67	0.17	2.00	0.13	2.25	-	-	0.14	-	0.14	
	第36週	-	0.38	2.25	4.13	0.29	1.63	-	0.46	0.83	0.13	1.92	-	1.25	-	-	-	-	0.14	
	第37週	0.05	0.25	2.00	5.33	0.33	2.63	0.08	0.54	0.71	0.29	1.33	-	1.63	-	-	-	-	-	
第38週	-	0.25	1.50	3.63	0.08	2.33	0.13	0.29	0.29	0.17	1.04	-	1.25	-	-	0.29	-	-		
全国	第36週	0.07	0.33	1.32	3.72	0.22	1.13	0.34	0.49	1.66	0.12	2.39	0.01	0.94	0.01	0.03	0.23	-	0.02	
	第37週	0.13	0.35	1.38	3.65	0.22	1.14	0.32	0.44	1.45	0.13	2.46	0.01	1.06	0.01	0.05	0.24	-	0.02	

* 百日咳は、2018年1月1日から5類感染症(全数把握疾患)に変更になりました。

■新たに判明した病原体検出状況

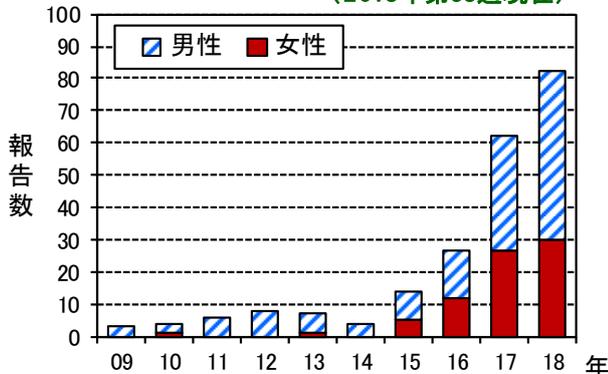
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患	発熱(39.0) 循環不全	0	女	2018/07/22	咽頭拭い液 尿	Eコーウイルス11型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市における梅毒の発生動向について

梅毒の年間報告数の推移
(2018年第38週現在)



近年、梅毒の患者数が全国的に急増しています。広島市においても、今年の累計は82件(男性52件、女性30件)となり、すでに過去最多だった昨年の年間報告数(62件)を上回りました。

梅毒は、性行為で感染し、検査や治療が遅れたり、治療せずに放置すると、長期間の経過で脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、妊娠中に感染すると、胎児に感染し、死産や奇形が起こることもあります。

梅毒は、早期発見・早期治療が大切です。梅毒に感染したおそれのある方は、早めに医療機関を受診しましょう。

保健センターでは、次の条件を満たす方について、無料の梅毒検査を行っています。

★無料検査の対象者((1)と(2)の両方を満たす方)

- (1) 広島市に住所を有する方又は広島市内に通勤、通学する方
- (2) 梅毒に感染したおそれのある方

検査は予約制です。予め、検査を希望される保健センターに電話で予約してください。

※検査の予約、実施場所、日時、検査内容等について、詳しくは広島市のホームページからご確認ください。

「梅毒検査について」 <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/1519965289997/index.html>

【問い合わせ先】 健康福祉局 保健部 健康推進課 (電話: 082-504-2622)

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp